

# 白内障、認知症リスクに

街路樹の葉が青々と生  
茂り目に鮮やかな季節  
となりましたが、皆さま  
いかがお過ごしでしょう  
か？

移りゆく季節を目で感  
じることはとてもすてき  
なことですね。私たちに  
とって見ることはとても  
大切です。

しかし年齢とともに起  
こる白内障などの症状に

より、視力低下や見えづ  
らさが出てきます。その  
結果、日常生活が低下し  
たり、生活の質が落ちた  
りするといわれています。

最近、国内外で行われ  
たいくつかの試験で「白  
内障による視力低下と認  
知機能の低下」の関連性  
が明らかになりました。

白内障を放置している  
と、認知症になるリスク  
が高まるという研究結果  
があります。また手術な  
どで白内障の治療をする  
と認知機能の改善が見ら  
れたとの報告もありま  
す。(白内障の手術では、  
あくまでも認知機能が改  
善されるだけで、認知症

と診断された人の症状が  
よくなるわけではありま  
せん)

私たちが目から得られ  
る情報は、脳に刺激を与  
えるものです。見えづら  
くなると、脳が受け取る  
情報も、脳に送られる情



報も少なくなってしまう  
ます。

それが記憶や理解、学  
習などの認知機能の低下  
を起こしてしまうのでは  
ないかと考えられていま  
す。転倒なども起こりや  
すくなり生活の質を下げ  
てしまうことも考えられ

ます。

白内障は点眼薬で進行  
を遅らせたりすることが  
できますが、完全に治す  
ことはできません。手術  
では原因になる水晶体と  
いう部分を人工の物に変  
えて治療しますが、いず  
れにしてもきちんとした  
診断が必要です。視力が  
落ちていても気付かない  
ことも多いため、定期的  
な眼科受診を心掛けま  
しょうね。

梅雨明けの空のように  
皆さまがいろいろなもの  
をすっきりと見て楽しめ  
ますように。

(薬剤師 西 美香)

薬  
西もやま

[102]

大阪地区薬剤師会